第６回上郷東地区まちの再生・活性化委員会　会議録	
日時	平成 31 年１月 27 日（日）14:00～16：00
開催場所	上郷地区センター　２階　中小会議室
出席者	委員：芦川委員、大原委員、豊田（宗）委員、吉田(敏)委員、射場委員、 吉田（正）委員、本田委員、角田委員、鈴木委員、難波委員、杉山委員、 平川委員、川崎委員、岩澤委員、井川委員、荒委員、河野委員、田辺委員、 森委員、豊田（智）委員、和田委員、吉井委員、福島委員、小林委員、 森田委員　（25 名） ＜事務局＞ 栄区区政推進課　（４名） 政策局政策課　　（２名） 都市整備局地域まちづくり課　（１名） 横浜プランナーズネットワーク（２名） ＜傍聴者＞ ４名
欠席者	内田（克）委員、高橋（勝）委員、三宅委員、安本委員、高橋（理）委員、 齋藤委員、見上委員　（７名）
議題等	１．助言内容の承認等について ２．平成 31 年度以降の進め方について ３．学識経験者から今後に向けたアドバイス
協議内容・ 意見交換等	**１．助言内容の承認等について** ・前回指摘を受けての修正点の確認（5 か所） ・Ｐ２　「20～30 年先の未来に向けて」を追加 「一般社団法人日本経済団体連合会の会員企業」を「民間企業」に変更 ・Ｐ３　「バス路線」を「バスルート」に変更 ・Ｐ５　「傘下企業」を「会員企業」に変更 ・Ｐ８　「基本的な視点、考慮する視点」を追加し、体裁を整えた ・Ｐ７の柱４に庄戸トンネル上部の活用等について、いろいろな声が出ているとの意見が出されたが、例示をしているだけで、どうするかが決まった訳ではないということから、特に変更しないことで了承された。 ・以下の点を修正することで、助言は異議なしで承認された。 ・Ｐ１　「栄区長あてに助言をいたします」に変更 ・Ｐ３　「知恵を出し合っていくことが 重要 であると考えます」に変更 ・Ｐ７　「福祉避難所 、物流拠点、医療拠点 など 」に変更 ・区長に助言を提出するのは、芦川委員長及び吉田前委員長に決定した。日程は後日調整する。

	２．平成 31 年度以降の進め方について **（前回委員会での確認について）** ・第５回委員会では、「まちづくりに関する検討・協議・実施については、地元の人たちが中心にやらないといけない。来年度以降、連合町会の総務部会にシフトし、区との関わりを継続していく」「連合町会に入っていない自治会などもいれたメンバーで取組んでいく」との意見があった。 ・連合町会には 4 つの部会があり、その一つの「福祉・総務部会」を 2 つに分けて、「総務部会」がまちの再生・活性化（今まで同様、自治会・町内会長、各種団体代表等で構成）を担当する予定である。 **（助言提出後の区役所のアクションプランについて）** ・助言を提出した後、区役所はそれを受け止めてどう動くのか、アクションプランはあるのか。 ⇒旧庄戸中学校後利用では、関係部署の庁内調整、民間事業者へのサウンディング調査など行政主体の動きになってくる。そうした動きを適宜地域に情報提供していきたいと考えている。地域交通は、道路整備の進捗に合わせて需要アンケート調査を実施したいと考えている。その結果もお知らせする予定。 ・助言に対して区は項目ごとにどのように対応していくのか、考え方を教えてほしい。 ⇒具体的な内容は、今後の調整等の中で明らかにしていきたい。区としては一つ一つできることから取組んでいくことになると思う。 **（上郷東連合町会での組織づくりについて）** ・上郷東連合町会に設置される委員会がどのような名前になるのか、どのようなメンバーになるのかなどの詳細は、連合の理事会で検討、決定して、最終的には連合の総会で承認されると思われるが、この場では連合町会に一任するのが妥当ではないか。 ・庄戸３丁目町会は連合未加入であるが、連合の総務部会の中に委員会を設置するとなると、関与できなくなるのではないかと危惧している。「原則として総務部会の中に」とか「総務部会を中心に」とか、未加入でも関われるようにしてもらいたい。 ・庄戸５丁目町会（連合未加入）も関われるよう、区のほうで公平に幅広く人選してもらったうえで組織づくりをしたらどうか。今、詳細を決める必要はない。 ・今回の地域の再生・活性化の取組みが、地域住民にきちんと伝わっていないとの声もよく聞くので、広報にも力を入れていく必要があると考えている。 ・これまでは区長から諮問を受けてメンバーに参加していたが、助言後の地域の受け皿の位置付けが分かりづらく、組織を作る根拠をどうするのか。また、連合未加入の庄戸３～５丁目町会の取り扱いをどうするのか。

	・連合町会が主体になって今後の受け皿を作るしかなく、これまでの取組に関わってきた町会等（連合加入、未加入を問わない）と受け皿としての組織を作り、地域全体で話し合いながら進めていくしかない。 ・旧庄戸中学校後利用は庄戸地区が中心で取り組むべきものであり、バス路線の新設はもう少し広域で取り組むものというように、連合町会がどのように対応するかだと思う。今後は役所だけでなく、地域の自分達でやらないといけないので、連合町会の各町会がよく話し合って進めていく必要がある。 ・まちづくりは地域全体で考えなくてはいけない。連合町会の窓口をオープンにしておくことでよいと思う。 ・助言を実現するためには、区とのやり取りをしながら、地域全体で進める必要がある。 ・連合町会の枠にとらわれず、地域全体で取り組んでいくことで、今後は連合町会が窓口となることで了承された。 **３．学識経験者から今後に向けたアドバイス** **（横浜国立大学大学院　大原教授）** 皆さんが熱心に議論を重ねて、立派な助言がまとまった。安心してこの地域のまちづくりを見ていけそうだと感じた。 この数年は、具体的なことをまとめるという趣旨でやってきて、旧庄戸中学校後利用と地域交通の２つのテーマがまとまった。 また、単に要望として出すだけではなく、バス路線は事業者の経営が成り立つという相手の視点も含めて議論できたのは良かったと思う。 今後の課題として、 ① まちづくりの原点に立って考えたとき、高齢化、人口減少、空き家の増加など、マイナスの点をどのように克服していくかが課題。特に介護の問題などは、忘れないようにしてほしい。 ② 地域資源を活かすことが重要で、地域の魅力づくりに繋がる。高齢者が多いのも資源で、考えていく人手がいることや社会サービス的にも需要者が多いので、新しい産業に結びつく可能性がある。また、物理的には空き家という資源の利活用であり、旧庄戸中というのも大きな資源となる。 ③ 上郷東だけではなく、横浜市、栄区の広域で見ると、セーフコミュニティやSDGｓがある。行政が向かっているものを引き寄せてプロジェクトを組み立てていくと、お金も人も活用できるものが増える。 ④ 主体は地域に住んでいる人全員である。特にコミハなどを運営する団体を外から呼び込むこともできるが、地域に根差した活動団体が生まれると良い。鎌倉市今泉台では、町内会にプロジェクトチームを作って検討を重ねた。その中で空き家を活用してサロンを作る、という具体的な案が出た際、地域でNPO を立ち上げて運営をやっていくことになった。組織を立ち上げると仕事が増え、ますます活性化する事例がある。

	上郷東地区の皆さんは、大変熱心で、実現の可能性をきちんと見定めてまとめていただいた。この地域の底力を感じた。 **（聖徳大学　豊田教授）** 皆さん、非常に熱心に委員会に携わっていると実感した。まちづくりは色々なところで検討されているが真剣に議論していかないと成果は出ない。繰り返し話題になることで、皆が考えていることを共有できる。 今回のように、真剣に議論してきたことは財産だと思う。皆さんが持っている力を見せてもらった。 アドバイスとして、 ① 地域社会に関心を持つことが重要。関心を持たないと議論にならない。 ② 話し合って共有する。意見というのは対立するものもあるし同調するものもある。話し合う「場」を用意することが大切。 ③ 具体化して分かりやすく提示する。同じものを見て議論することが重要。 ④ みんなで暮らしている地域なので、相互に助け合って進める。 また、福祉面の計画づくりでは、①社会特性、②地域特性、③福祉特性（社会資源、福祉の課題、生活上の課題）の視点を入れて計画を作ることが重要。計画は作っておしまいではなく、作るまでの過程で、みんなが同じ土俵に乗ることが重要。 **４．その他** **（吉田前委員長よりあいさつ）** 前年度の委員長として、協議会、委員会と４年間にわたって、多くの方に協力してもらった。要望ではなく助言というのは珍しい形だと思う。 助言をまとめるにあたっては、29 年度のうちに骨子をまとめることができ、スピーディに進められたことに感心した。そのおかげで今年度はとりまとめ案を議論し、精査にあてることができた。 助言提出後も、その結果を見守っていき、安心して暮らせる街になることを期待したい。 **（栄区役所雨堤区政推進課長よりあいさつ）** 協議会、委員会を含め４年間の熱心な議論で助言をまとめていただき、ありがとうございました。 大原先生、豊田先生からも貴重なアドバイスをありがとうございました。 助言をいただいてからは行政内部の調整・協議が中心になってくると思っている。区役所としてもできる限りの働きかけを関係部署にしていきたい。 また、地域の窓口となる連合町会と、協議・連携しながら実現に向けて進めていきたい。

	（芦川委員長より締めのあいさつ） 　数年後には助言に盛り込んだ皆さんの願いが実現し、見違えるようなまちになることを期待しているので、今後も力を貸してもらいたい。 　連合町会が受け皿の窓口として、地域全体の取組になるよう努めるとともに、まちづくりが熱心に進められたらいいと切に願っている。 ・事務局より、今回の議事録は委員長に確認後、ホームページに掲載することと３月に助言の写しを郵送することの報告及び、まちづくりニュースの班回覧の依頼があった。
資料	・次第 ・上郷東地区のまちづくりに向けた助言（委員には事前郵送済み）